



議会だより

令和 5 年 8 月 1 日 発行
 発行 青森県上北郡横浜町議会
 〒039-4145
 青森県上北郡横浜町字寺下35
 電話 (0175) 78-2111
 F A X (0175) 78-2118
 編集 議会広報編集委員会



むつ湾フォーラムin横浜町

撮影日：令和 5 年 6 月 24 日

●第 1 回臨時町議会	P 2
議長、副議長など議会組織決まる	
●第 2 回定例町議会	P 4
審議した主な内容	
●一般質問 3 人登壇	P 7
(杉山大栄議員、澤谷航一議員、沖津正博議員)	
●横浜町議会の主な動き	P 10

横浜町議会新体制がスタート

議員10名少数精鋭で町民の付託に答えます



副議長
菊地英史



議長
杉山和彦

第1回臨時町議会が5月12日に開催され、議長、副議長選挙については議長に杉山和彦議員、副議長には菊地英史議員が当選。

また、常任委員会委員、議会運営委員会委員、広域事務組合議員等の選任を行いました。令和4年度一般会計補正予算など専決処分の報告12件を原案通り承認、可決。人事案件では、町監査委員に杉山大栄議員を選任することに同意しました。

横浜町議会議員（議席順）



5番
橋本 円



4番
杉山 大栄



3番
野坂 浩二



2番
澤谷 航一



1番
濱谷 和恵



10番
杉山 和彦



9番
菊地 英史



8番
小川 和男



7番
沖津 正博



6番
澤谷 松大

各委員会の構成

◎総務教育常任委員会

委員長 野坂浩二
副委員長 小川和男
委員 澤谷航一
委員 沖津正博
委員 菊地英史

◎横浜町監査委員

杉山大栄

◎産業民生常任委員会

委員長 橋本 円
副委員長 濱谷和恵
委員 杉山大栄
委員 澤谷松大
委員 杉山和彦

◎議会運営委員会

委員長 菊地英史
副委員長 沖津正博
委員 野坂浩二
委員 橋本 円
委員 小川和男

◎広報編集委員会

委員長 野坂浩二
副委員長 杉山大栄
委員 濱谷和恵
委員 澤谷航一
委員 沖津正博

◎北部上北広域事務組合 議会議員

濱谷和恵
杉山大栄
小川和男

◎下北地域広域行政事務 組合議会議員

澤谷松大

◎上北地方教育・福祉事 務組合議会議員

澤谷航一

◎原子力・エネルギー対 策特別委員会

委員長 橋本 円
副委員長 濱谷和恵
委員 他全議員

◎議会活性化特別委員会

委員長 菊地英史
副委員長 野坂浩二
委員 他全議員

審議した議案の結果

5月臨時会で審議した議案とその議決結果です。(審議した順に掲載)

議案番号	議 案 名	審議結果
議案第24号	横浜町監査委員選任について	同 意
承認第2号 (専決第2号)	専決処分した事項の報告及び承認を求める件について (令和4年度横浜町一般会計補正予算(第9号))	承 認
承認第3号 (専決第3号)	〃 (令和4年度横浜町一般会計補正予算(第10号))	
承認第4号 (専決第4号)	〃 (令和4年度横浜町国民健康保険特別会計補正予算(第5号))	
承認第5号 (専決第5号)	〃 (令和4年度横浜町介護保険特別会計補正予算(第5号))	
承認第6号 (専決第6号)	〃 (令和4年度横浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号))	
承認第7号 (専決第7号)	〃 (令和4年度横浜町水道事業会計補正予算(第3号))	
承認第8号 (専決第8号)	〃 (横浜町町税条例等の一部を改正する条例)	
承認第9号 (専決第9号)	〃 (横浜町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	
承認第10号 (専決第10号)	〃 (横浜町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	
承認第11号 (専決第11号)	〃 (横浜町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	
議案第25号	令和5年度横浜町一般会計補正予算(第1号)	可 決

令和5年 第2回定例町議会

6月定例会は、6月14日(水)から16日(金)までの3日間の会期日程で開会し、日程を1日繰り上げて閉会しました。

提出された議案は、報告1件、過疎地域持続的発展計画の変更1件、人事案9件、工事請負契約の締結4件、物品売買契約の締結2件、補正予算4件の合計21案件を慎重審議し、原案のとおり承認、可決しました。

一般質問には、杉山大栄議員、澤谷航一議員、沖津正博議員の3人が登壇し、学校の部活動について、畜産農家支援について、大型店出店についてなど、多方面にわたり論戦を展開しました。

審議した議案の結果

6月定例会で審議した議案とその議決結果です。(審議した順に掲載)

議案番号	議 案 名	審議結果
報告第1号	令和4年度横浜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
議案第26号	横浜町過疎地域持続的発展計画の変更について	可決
議案第27号	横浜町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて (長倉喜美男氏)	同意
議案第28号	〃 (杉山幸進氏)	
議案第29号	〃 (沖津由藏氏)	
議案第30号	〃 (青木青人氏)	
議案第31号	〃 (濱谷和恵氏)	
議案第32号	〃 (秋田孝明氏)	
議案第33号	〃 (烏山良子氏)	
議案第34号	〃 (澤谷政夫氏)	
議案第35号	〃 (野坂時夫氏)	
議案第36号	工事請負契約の締結について (町営住宅有畑団地A棟建築工事)	可決
議案第37号	〃 (町営住宅有畑団地B棟建築工事)	
議案第38号	〃 (町営住宅有畑団地C棟建築工事)	
議案第39号	〃 (町道向平1号線道路改良工事)	
議案第40号	物品売買契約の締結について (横浜町学校給食センター運搬車整備事業)	
議案第41号	〃 (横浜町一般廃棄物最終処分場重機整備事業)	
議案第42号	令和5年度横浜町一般会計補正予算(第2号)	
議案第43号	令和5年度横浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第44号	令和5年度横浜町下水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第45号	令和5年度横浜町水道事業会計補正予算(第1号)	

予算の主な内容

◆一般会計

歳入歳出それぞれ1億62万4千円を追加し、予算総額を41億8,162万4千円とする。

歳入(主なもの)

- ・総務費国庫補助金 4,649万2千円
- ・民生費国庫補助金 265万7千円
- ・衛生費国庫補助金 174万円
- ・財政調整基金繰入金 4,844万8千円

歳出(主なもの)

- ・陸奥横浜駅舎整備事業費 1,138万2千円
- ・電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方給付金事業費 2,475万円 (※①)
- ・横浜町福祉介護医療等事業所燃料費等高騰対策支援金交付事業費 491万3千円 (※②)
- ・低所得子育て世帯生活支援特別給付事業費 320万円
- ・畜産業飼料等高騰対策支援給付事業 1,226万5千円 (※③)
- ・農業・水産業物価高騰対策支援給付事業費 1,550万円 (※④)

事業名	事業内容
※①	住民税非課税世帯1世帯当たり3万円(750世帯)
※②	・保育園、幼稚園 ・特別養護老人ホーム ・ショートステイ、グループホーム ・デイサービス・小規模多機能型居宅介護 ・居宅介護支援 ・居宅介護支援(社協) ・訪問介護 ・有料老人ホーム ・医業・歯科医業・薬局・施術
※③	乳用牛(雌牛)1万円/頭 肉用牛(雌牛)1万円/頭 養豚(雌豚)5千円/頭 ・酪農8戸(575頭) ・繁殖27戸(494頭) ・養豚1戸(315頭)
※④	農業(認定等)10万円(73戸)、農業(その他)5万円(10戸)、水産業(船舶保有)10万円(77戸)

◆特別会計

・介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ414万9千円を追加し、予算総額を7億9,165万3千円とする。

・下水道事業会計

収益的収入及び支出の支出において、営業費用を9万2千円増額する。

・水道事業会計

収益的収入及び支出の支出において、営業費用を1万9千円増額する。

資本的収入及び支出の収入では、工事負担金を160万円、支出では建設改良費を160万円それぞれ増額する。

陳 情

件 名	審議結果
国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情	議員配布
全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情	〃

工事請負契約

令和5年5月29日入札の結果、落札者が決定したので令和5年5月31日付で仮契約を締結した、町営住宅有畑団地A・B・C棟建築工事について、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により提案するもの。

工事名	町営住宅有畑団地A棟建築工事	町営住宅有畑団地B棟建築工事	町営住宅有畑団地C棟建築工事
契約金額	金 54,670,000円	金 55,770,000円	金 54,670,000円
契約の相手方	上北郡横浜町字 三保野174番地5 小関建設 事業主 小関 正	上北郡横浜町字 三保野183番地5 杉山建築 事業主 杉山 浩司	上北郡横浜町字 林ノ後19番地3 山本建設 代表 山本 融

令和5年5月29日入札の結果、落札者が決定したので令和5年5月31日付で仮契約を締結した、町道向平1号線道路改良工事について、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により提案するもの。

工事名	町道向平1号線道路改良工事
契約金額	金 90,200,000円
契約の相手方	上北郡横浜町字 川尻37番地6 濱谷建設株式会社 代表取締役 濱谷 光幸

物品売買契約

令和5年5月29日入札の結果、落札者が決定したので令和5年5月31日付で仮契約を締結した、学校給食センター運搬車整備事業（給食運搬車1台（規格：1.5t））について、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により提案するもの。

工事名	横浜町学校給食センター運搬車整備事業
契約金額	金 6,050,000円
契約の相手方	むつ市大曲3丁目41番地 いすゞ自動車東北株式会社 青森支社むつ支店 支店長 福士 栄

令和5年5月29日入札の結果、落札者が決定したので令和5年5月31日付で仮契約を締結した、横浜町一般廃棄物最終処分場重機整備事業（油圧ショベル1台（規格：0.45m³））について、横浜町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により提案するもの。

工事名	横浜町一般廃棄物最終処分場重機整備事業
契約金額	金 13,189,000円
契約の相手方	むつ市南赤川町15番地16 コマツカスタマーサポート株式会社 東北カンパニー八戸支店 建機むつ営業所 所長 相馬 将彦

町政を問う 一般質問

6月定例会

杉山大栄 議員



学校の部活動について

質問

昨年6月にスポーツ庁の有識者会議が、少子化で学校単位のチーム編成が困難になってきている現状を踏

まえ、公立中学校の部活動を地域のスポーツクラブに委ねる「地域移行」にする提言を公表しました。

また国は、前年度末に改革のガイドラインを策定し、今年度から3年間「改革推進期間」と位置づけ、まずは休日の「地域移行」を推進し、可能な限り早期の実現を目指すよう求めてきています。

町として、学校の部活動をどのように「地域移行」に進めていく予定なのか、現状をお伺いします。

答弁

町といたしましては、中学校と協議し、令和7年度末の休日部活動の地域移行を目標と定め、今年度の4月から「吹奏楽部」と「総合文化部」を除いた各部活動の「地域指導者」4名と「地域指導団体」1団体に対し、中学校から委嘱状を交付し始動しております。町としての取り組みとして、令和5年度は各部活動の一年間の練習や試合等のスケジュール把握や指導方

法等のすり合わせ。令和6年では、地域指導者の人材確保に努めながら、部活動ごとの課題と必要な対策を整理する。令和7年度末では、可能な部に関して地域移行するよう段階的に進めていく計画としております。今後、中学校と教育委員会、スポーツ協会やスポーツ少年団、スポーツクラブ団体等の関係者らと連携を図りながら、横浜町にあって部活動の地域移行を進めていきたいと考えております。

質問

県教育委員会では、令和3年度から二本木附属中学校をモデル校として、休日の部活動の地域移行に係る実践研究に取り組み、その研究成果を各市町村教育委員会に周知することとしておりますが、その報告はあったのかお伺いします。

答弁

モデル校である「県立三本木附属中学校」の令和7

年度までの実証事業については報告を受けております。県教育委員会は、休日の部活動の地域移行へ向けての課題として、スケジュールや部活動を希望する教員はどうするのか。また、部活動の送迎などはどうするのか。などの検討課題とその検討課題に対する対応について報告されております。

澤谷航一 議員



畜産農家支援について

質問

家畜飼養農家は営農により排出される糞尿を農地に還元、飼料作物を生産して購入飼料・肥料代の削減に常日頃から努めています

が、近年の資材等々の高騰は自助努力の限界を超えています。

その様な状況のなかで、新年度早々に畜産農家支援のため大型の補正予算を提案頂けた事に感謝申し上げます。その具体的な内容をお伺いします。

答弁

「畜産業飼料高騰対策支援給付事業」を実施し、畜産農家経営継続のため、乳用牛については、乳用雌牛1頭当たり1万円、肉用牛1頭当たり1万円、肉用牛については、繁殖雌牛1頭当たり5千円の支援を行うものであります。

交付申請事務は、早ければ7月から実施したいと考えております。

牛放牧場の開設について

質問

町行財政改革のため町営田ノ沢牧場を廃止したいと

という提案があったのは約20前に遡りますが、その後、大豆田共同放牧利用組合へ助成金を支払う事で組合員

外の町内牛飼養農家へも放牧が認められたことから田ノ沢牧場が廃止されました。

ところが、今春から大豆田牧野が放牧を許可せずという結果を下したため、牛飼いを止める農家が1戸、六ヶ所村・東北町へ放牧をお願いした農家が2戸、それ以外の農家は春になっても舎飼いのままです。

町は、大豆田共同放牧利用組合との間でどの様な取り決めをしていたのか、単なる口約束だけで契約らしきものが存在しなかったのかお伺いします。

答弁

「大豆田放牧場」の今年度の閉鎖につきましては、町としても大変残念であり、今年度の閉鎖の情報を受け、「大豆田共同放牧利用組合」及び「横浜町和牛生産改良組合」双方へ状況の確認と放牧場開放に向け、もう一度話し合いをし

ていただきたい旨、お願いをしておりますが、状況を変えることはできませんでした。

町は組合の雇用する監視人の人件費について補助を行っており、単年度ごとの運営費に係る補助金の交付を行ってきたほか、必要に応じてパドック設置のため、旧町営牧場で使用していた単管等の貸与を行っており、契約としてはなく補助金の交付申請事務として対応しております。

町といたしましては、引き続き大豆田放牧場の利用について両組合へ話し合いの継続と、開牧の実施を求めていきたいと考えております。

副町長を選任しては

質問

石橋町長は就任以来2年半に渡り休まず走り続けて来られた事に敬意を表します。この間公約に掲げていた子育て家庭への支援策として、国に先行して学校給食費の無料化を実現されま

した。さらに、電源立地給付金も一部還元する事を決める等の実績を上げて来られました。

柔和な笑顔が似合う石橋町長に、今後とも時間と心に余裕を持って更なる町政改革に臨んで頂くためにも副町長を選任するべきではないか、町長の考えをお伺いします。

答弁

副町長が不在となっており、行政推進にあたり議員の皆様を始め、多方面でのご迷惑とご心配をかけ、また、町民にも不安を与えていることに大変申し訳なく思っております。

副町長は必要な職であると思っており、その人材については、町の実情を把握し、行政に精通している方であればならないと考えております。

今後において、議員各位のご意見を賜りながら、副町長を選任したいと思っております。

沖津正博 議員



大型店出店に備えを

質問

町内に大型店出店の動きがあるようですが、町に正式な連絡や申し入れがあったのかどうか、開業するとすれば場所や時期はいつになるのか伺います。

答弁

出店の申請が昨年の8月に当町へ提出されており、出店予定地に係る手続き上、当店舗の従業員の雇用に係る協定を締結しております。

場所につきましては、パイパスから横浜中学校へ向かう交差点の角地となっております。開業予定は、本年10

月とされています。

質問

一方で地域の商店は廃業に追い込まれる危険もあります。町づくりと商業振興に沿うよう事前協議が必要ではないでしょうか。町や商工会への協力、町づくりと地域活性化への賛同、地域商店・商工会とのルール作りなどについて大型出店業者との話し合いや合意を望むところですが、町の考えを伺います。

答弁

新たな商業店舗の進出は、町民にとっても雇用の創出と、買い物の利便性が増すこととなります。

しかしながら、人口減少が進み、近隣の大型店舗等への流出、更には事業主の高齢化や後継者不足など、既存の町内小売店においては経営継続に苦慮している状況であります。人口減少に歯止めをかけるうえでも、地域活性化に向けた事業者間協力を町商工会と

もに進めてまいりたいと考えております。

なお、出店予定の業者からは、非常災害時における緊急物資や避難所の提供など、地域に協力していきたいとのことでありますので、町民の利便性と地域振興につながるものと考えております。

質問

商業活性化や買い物難民対策について伺います。

答弁

令和5年度一般会計予算におきまして、プレミアム率20%のプレミアム付商品券を発行し、商店の振興を図っているところであります。

また、月曜日から金曜日までの平日5日間、温泉・お買い物バスを町民の方にご利用いただいております。そのほか、キッチンカーでの健康指導とタイアップをしたり、高齢者の見守りも併せて行っております。今後とも、地域振興を図

るうえで、商業活性化も含め取り組んでいきたいと考えております。

植樹祭の再開を求める

質問

豊かな森林を子どもたちに残し、温暖化対策や海を守る上でも森林は重要です。山歩きの友人は「横浜町の山もスギが多い」と嘆いておりました。また、再生エネルギーの開発で森林伐採が相次いでいます。山・海・環境保全と町民意識醸成のためにも植樹祭の再開を求めたいと思います。

また、町内山林に占める人口針葉樹林の面積や割合をお伺いします。

答弁

町では、森林環境譲与税を活用し、森林経営計画の調査を実施しており、この調査をもとに、森林管理についての計画を作成し、計画的に町有林・民有林の伐採等の手入れを行い、町有林の伐採後の植樹につい

て、「植樹祭」を計画するなど対応したいと考えております。

なお、当町の森林の状況についてであります。森林総面積は8,073ヘクタールで町の総面積の63.9%を占めております。このうち民有林面積は3,031ヘクタールであり、そのうち、スギ、マツを主体とした人工林は1,623ヘクタールで、人工林率は53.5%となっております。

国道等歩道の雑草対策について

質問

現在国道の歩道草刈り作業が行われています。例年は年に1回6月に作業が行われ、近頃は近所の住民が草刈りしていただく機会が5月にはすでに草ぼうぼうとなり、歩行できない場所も見受けられ、歩道の機能が失われ、景観上も障害をきたしています。これまでも県民局に要求してきましたが、草刈り回数を増やすな

ら、近年は雑草の伸びが早く、上北地域県民局による除草作業が年1回で、実施時期も遅いことから、歩道の雑草が伸び放題となっている箇所が多く見受けられ、歩行者が安全に通行できない状況にあります。

と歩道の草刈りと保全を改めて町から強く求めてほしいと思いますが、町の考えをお伺いします。

答弁

町内の国道279号線の除草作業については、毎年6月から7月にかけて実施され、今年も6月に入ってから除草作業が行われ始めております。

しかしながら、近年は雑草の伸びが早く、上北地域県民局による除草作業が年1回で、実施時期も遅いことから、歩道の雑草が伸び放題となっている箇所が多く見受けられ、歩行者が安全に通行できない状況にあります。

町といたしましても、引き続き上北県民局へ、早期の除草及び除草作業を複数回実施してもらえるよう強く要望し、歩行者の安全に努めていきたいと考えております。

議員研修会

第一法規株式会社職員を講師に迎え、議員研修会を開催しました。

日時

令和5年6月14日(水)

場所

役場3階 大会議室

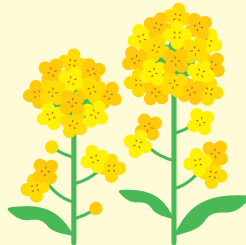
研修内容

- ①法
- ②条例
- ③条例の制定・改廃
- ④今後の法改正の動き



横浜町議会の主な動き

- 5月31日 総務教育常任委員会
- 6月 1日 産業民生常任委員会
- 6月 7日 議会運営委員会
- 6月14日 第2回定例町議会
- 6月15日 /
- 7月12日 広報編集委員会
横浜風力発電竣工式
- 7月19日 県下町村議会議員研修会
(青森市)
- 7月26日 議会活性化特別委員会
原子力・エネルギー対策
特別委員会



県下町村議会議員研修会 が開催されました

令和5年7月19日に県議長会主催の議員研修会が開催され、議員10名が参加しました。

○講師：経済ジャーナリスト
須田 慎一郎 氏

○テーマ：「今後の政局・政治展望」



研修会の様子

議会を傍聴しませんか

町の動きを知るよい機会です。
多くの方が町政に関心を持ち、議会を傍聴することが議会活性化の一つです。

6月定例会の傍聴者は19人でした。
次の定例会は9月の予定です。
みなさんの傍聴をお待ちしております。
(詳しくは議会事務局まで)

みなさんの声をお聞かせください

町民の皆さんに親しまれる
紙面づくりを目指し、ご意見、ご要望
(傍聴された方のご意見も合わせて)
お待ちしております。

議会広報編集委員会
TEL78-2111 内線430・431

広報編集委員会

- 委員長 野坂浩二
- 副委員長 杉山大栄
- 委員 濱谷和恵
澤谷航一
沖津正博

今回発行の「議会だより」より、新任3名を含む、5人体制で活動していきます。委員長を務めさせていただきます。野坂です。宜しくお願い致します。

「青森新時代」を掲げ就任した新知事が、様々な改革を進める中、当町におきましても、新任3名の新たな目線を取り入れつつ、既成概念にとられない、様々な情報を発信していきたいと思えます。

(野坂浩二)

編集後記